

The 13th RIHN Forum

第13回 地球研フォーラム

地球環境をどう デザインするか?

去年に引きつづき〈共に創る〉をテーマにした地球研フォーラムを開催します。
いま地球環境にかかわる分野では〈共に創る〉ことが主流となってきています。
Co-design(コ・デザイン)、Co-production(コ・プロダクション)、Co-delivery(コ・デリバリー)などの概念がモットーとなり、
ワークショップや参加型開発が世界中で取り組まれるようになってきています。
地球研でも多くのプロジェクトが、社会とともに研究を行う試みを続けています。
けれども、地球環境に関する領域はひろく、課題は膨大。わたしたちは、たえざる取り組みを続けなければならないでしょう。
2回目となる今年の〈共に創る〉フォーラムでは、研究からデザインに踏み込んで考えます。
パネリストは、現代のあらゆるシーンの先端で〈デザイン〉を考えている方々。
ツイッターなどの新しいソーシャル・ネットワーキング・メディアを利用し、
多くの方に〈共に創る〉場を共有していただけるようにしたいと思います。

趣旨説明

寺田匡宏 ●総合地球環境学研究所 特任准教授

石器時代の環境観とデザイン：現代社会へのメッセージ

サイモン・ケイナー

Simon Kaner ●総合地球環境学研究所 招へい外国人研究員
セインズベリー日本藝術研究所 考古学・文化遺産センター長
イースト・アングリア大学 日本学センター長

ソーシャルデザイン：社会課題の創造的解決手法

寛裕介 ●issue+design 代表

人類が地球に生き残るための株式会社

龜石太夏匡 ●株式会社リパースプロジェクト 代表取締役

地球環境と環境観ネットワーク：変えられない「閾値」と変えられる「限界」

半藤逸樹 ●総合地球環境学研究所 特任准教授

パネルディスカッション

サイモン・ケイナー

【パネリスト】Simon Kaner / 寛裕介 / 龜石太夏匡 / 半藤逸樹 / 川尾朋子 ●書家

【座長】阿部健一 ●総合地球環境学研究所 教授 / 安富奈津子 ●総合地球環境学研究所 助教

【司会】飯田実乃里 ●京都産業大学 3年

Twitterで随時
質問を受け付けて
います。みんなで
ディスカッションに
参加しよう!

2014 7/12 (土) 13:00-17:00 / 12:00開場

国立京都国際会館 Room D

入場無料

京都市左京区宝ヶ池 地下鉄烏丸線 国際会館駅下車

主催：総合地球環境学研究所

後援：京都府教育委員会 / 京都市教育委員会

協力：京都府立北嵯高等学校 (KES認証校、エコ京都21登録校)

京都府立洛北高等学校 (文部科学省スーパーサイエンスハイスクール[SSH]研究指定校)

総合地球環境学研究所 [RIHN]

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4 Tel: (075)707-2492 fax: (075)707-2510

<http://www.chikyuu.ac.jp/>



Twitterアカウント

RIHN_Forum

フォーラム当日まで関連情報などつぶやくので、フォローしてね!

当日のパネリストへの質問は、Twitterで随時受け付けます。

質問にはハッシュタグ #rihnf13をつけて、ツイートしてください。(#rihnf13がないツイートの質問にはお答えできませんので、ご注意ください。また、#の前に半角スペースを入れるのも忘れずに!)

また、当日の質問以外にも、「地球環境問題」や「地球環境研究」に対する思いをどんどんつぶやいてください。#rihnf13

公益財団法人 国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
TEL : 075-705-1234

市営地下鉄丸線「国際会館駅」から徒歩5分。
改札から地下通路を通り出入口4-2をご利用ください。
出入口からは、歩廊に沿って雨に濡れずに正面玄関までお越し頂けます。



【お問い合わせ先】 平日8:30~17:00にお問い合わせください



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

研究協力課 地球研フォーラム事務局

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
TEL : 075-707-2492 FAX : 075-707-2510
E-mail : forum@chikyuu.ac.jp

【開会挨拶】

やすなり てつぞう
安成 哲三 @総合地球環境学研究所 所長



てらだ まさひろ
寺田 匡宏 @総合地球環境学研究所 特任准教授

わたしも地球環境の一部であるのだから、つねに、すでに、地球環境をつくっているはずのだけれど、それをデザインするとはどういうことなのだろう? フォーラムの場で考えてみたいと思う。



サイモン・ケイナー
Simon Kaner @総合地球環境学研究所 招へい外国人研究員

先史時代から現代まで人類は自然環境に多大な影響を及ぼしてきた。新技法により考古学者が過去の環境を復元することが可能となった今、ヨーロッパと日本を例にとり「環境と環境デザイン」の概念について考えたい。

Profile ケンブリッジ大学博士号を取得。セインズベリー日本美術研究所の考古学・文化遺産センター長およびイースト・アングリア大学日本学センター長。専攻は日本の先史時代考古学。著書に、大英博物館で開催された画期的な土偶展の図録「The Power of Dogu: ceramic figures from ancient Japan (土偶の力:古代日本の陶像)」など。



かけい ゆうすけ
寛 裕介 @issue+design 代表

デザインとは、「美と共感の力で、社会の複雑な課題をクリエイティブに解決する行為」のことです。地球環境の課題解決のための、楽しい美しいアクションをみんなで一緒に考えましょう!

Profile 東京大学大学院工学系研究科修士(工学博士)。2008年issue+design設立。以降、社会課題解決のためのデザインプロジェクトに取り組む。代表プロジェクトに「Community Travel Guide」、「できますセッション」、「親子健康手帳」など。著書に「ソーシャルデザイン実践ガイド」など。



かめいし たかまさ
龜石 太夏匡 @株式会社リバースプロジェクト 代表取締役

「人類が地球に生き残るためにはどうすべきか?」を理念に、様々な活動を行ってきたリバースプロジェクト。厳しい経済状況の中でも活動範囲を広げ続けています。みんなの善意でよりエシカルな世界に!

Profile 1993年にジョブ「PIED PIPER」を立ち上げ、ファッションシーンをけん引する。俳優としても活動し映画「ソナチネ」などに出演後、映画製作に移り、脚本・プロデュースをメインに活動。主な作品として「セイジ-陸の魚-」など。2009年に伊勢谷友介と共に株式会社リバースプロジェクトを設立し、現在に至る。



はんだう いつき
半藤 逸樹 @総合地球環境学研究所 特任准教授

未来を切り拓くのは、ひとりひとりの価値と行動です。地球研発アプリ「環境観てつながる世界」を試してください。あなたも地球環境のデザイナー。「地球の限界」は、人類全員で変えていけると信じています。

Profile 2000年連合王国イースト・アングリア大学大学院環境科学研究科博士課程修了(Ph.D.)。専門は地球システム科学。アプリ「環境観てつながる世界」の共同開発者。数理モデリング手法を駆使して学際研究に取り組み、様々なステークホルダーと協働して超学際研究を実践している。2013年人間文化研究奨励賞を受賞。



かわお ともこ
川尾 朋子 @書家

地球という規模はあまりにも大きすぎて遠いですが、生活環境、とくに私は制作環境という観点から問題点や改善策などを考えたり、意見交換できたらと願っています。

Profile 6歳より書を学び、国内外で多数受賞。2004年より祥洲氏に師事。代表作である「呼吸」シリーズは、PanasonicのショーウィンドウやNHK大河ドラマ「八重の桜」オープニング映像にも登場した。阪急嵐山駅「嵐山」揮毫。ライブパフォーマンスやワークショップなども好評を得ている。同志社女子大学卒。京都在住。



あべ けんいち
阿部 健一 @総合地球環境学研究所 教授

環境問題を考えることは、未来をどのようにデザインするかということです。すでに多くの人が、さまざまな試みを行っています。それを今回のフォーラムで共有して、より魅力的なものにできればと思っています。



やすとみ なつこ
安富奈津子 @総合地球環境学研究所 助教

地球環境をどうデザインするか~参加者それぞれが違う絵を描いていることでしょうか。フォーラムは全員が意見を発言できる場です。当日は、考えの違いと共通点をあぶり出し、面白い議論ができることを楽しみにしています。



いいた みり
飯田実乃里 @京都産業大学 3年

地球環境問題の解決は、研究者だけが取り組むのではなく、私たち学生も積極的に取り組んでいくべきだと思います。地球環境問題への意見や疑問をぜひ会場でお聞かせください。多くの学生の皆さんの参加をお待ちしています。

参加申込書

今回のフォーラムは、Twitterでの質問・コメントを受け付けます。なお、会場の様子は、インターネットを介してストリーミング放送されます。あらかじめご了承のうえ、お申し込みください。

【申込方法】●郵便番号・住所 ●氏名(ふりがな)
●電話およびFAX番号 ●参加人数を明記のうえ、はがき、FAX、E-mailにて、「地球研フォーラム事務局」までお申し込みください。

締切 2014年7月1日(火)

定員(200名)に達した場合には、応募を締め切る場合があります。

FAXでお申込みの方は右に必要な事項を記入し、そのまま送信してください。

〒	-		
住所			
ふりがな			
氏名		電話番号	
FAX番号		参加人数	人

FAX

075-707-2510

e-mail

forum@chikyuu.ac.jp

※お寄せいただいた個人情報は、地球研が開催する催しの案内に利用させていただきます。